

# 平成23年度 下田中グランドデザイン

## 教育目標 自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

### 《小中一貫教育の目標》

『ふるさとで夢や希望をはぐくみ

未来をたくましく生きる子の育成』

### 《小中一貫教育の推進》

- 義務教育9年間を見通したカリキュラムを小学校と中学校が連携して作成します。
- 小中相互に授業を公開し教師の授業交流を推進します。

### めざす生徒の姿

- 自己の可能性に向かって、何事にも粘り強く取り組む生徒
- 「思いやり」の心を行動や態度で表すことができる生徒
- 主体的に授業に臨み、学びを深めようとする生徒

### 確かな学力

- 分かる授業の創造  
⇒「できた、分かった」と喜びを感じられる授業を工夫し、意欲的に学習に取り組める子どもの育成を図ります。  
<基礎・基本の定着、生徒の実態把握と授業改善>
- 学習習慣の確立  
⇒主体的に学ぼうとする習慣を身に付け、より良い学習環境を自ら考え改善し実践できる生徒の育成を図ります。  
<下田タイムの実施、授業規律の確立、家庭学習の充実に向けた小中連携>

### 豊かな心

- 心を育てる道德の時間の工夫  
⇒自他の思いを考える場を設定し、思いやりや自尊感情、善悪を判断する力の育成を図ります。  
<体験活動と関連付けた資料の活用、役割演技や葛藤場面を位置付けた授業実践、心のノート」の活用>
- 規範意識を育てる教育活動の推進  
⇒人やこと等に積極的に働きかけ、かかわる中で倫理観や規範意識を醸成し、正しい判断と行動ができる力の育成を図ります。  
<キャリア教育の推進、生徒会活動の充実、体験活動の実践>

### 健やかな体

- 体力の向上を図る授業改善  
⇒運動の楽しさを味わわせるとともに、個に応じた運動場面を確保し、体力の向上を図ります。  
<運動環境づくりの工夫、体力診断テストの実施・活用、運動部活動の充実>
- 心身の健康を促す教育活動の推進  
⇒望ましい食習慣、十分な睡眠等の指導を通して、健全な生活サイクルを確立し、健康な心身の育成を図ります。  
<関係機関との連携、食育の推進、家庭の生活習慣の改善>

### 家庭や地域との連携

- ☆元気なあいさつ、さわやかな笑顔で地域の人々と接します。
- ☆地域とともに安全・安心な学校づくりに努めます。
- ☆家庭・地域と共に規則正しい生活習慣の確立を目指します。
- ☆教育活動の様子を随時情報発信します。

### 生徒の実態

- 諸活動には熱心に取り組む純粋さがある
- 明るく素直であるが自信をもって自己表現することが苦手である
- 具体的場面での実践力が不足している
- 学習習慣が十分に定着していない
- 目標をもって計画的に粘り強く実践する力に

### 教育課題

- 確かな学力に結びつく学習習慣の定着
- 他を思いやる心の醸成と自己肯定感の向上
- 考え・判断し自ら解決する力の育成
- 自浄作用のある集団の形成

### 教職員の姿勢

- 一人一人が当事者意識をもち、規範意識の醸成に全教育活動を通して取り組む
- 基礎・基本の定着を徹底し、学力向上に向け全力で臨む
- 生徒と接するときは常に受容・共感・相談の基本姿勢で接する
- どの生徒にも「居場所」のある学年・学級経営をめざす